

ロンドン、2021年6月10日

アルセロールミッタル ゼニカ向け転炉更新工事を受注

- 最適化された炉体設計で炉体容量を増大し生産能力を拡大
- メンテナンスフリーのサスペンションシステム
- 交換可能炉底の設計変更で高い密閉性を維持
- 据付は信頼と実績のある現地パートナーと共同施工

プライメタルズ テクノロジーズ (Primetals Technologies) は、ボスニアの鉄鋼メーカーであるアルセロールミッタル ゼニカ (ArcelorMittal Zenica d.o.o.) より転炉 (BOF) 2号機の炉体更新と関連機器の供給を受注しました。最適化された設計により炉体容量が増大し、生産能力が拡大されます。また、実績あるヴァイコンリンク 2.0 (Vacon Link 2.0) サスペンションシステムの採用により、メンテナンスが不要となります。新設計の交換可能炉底は高い密閉性を保ち、漏れのリスクを最小限に抑えます。転炉の更新作業は、経験豊富なセルビア企業 GrappS d.o.o をパートナーとするオープンコンソーシアムで施工されます。運転開始は2022年内の予定です。

既存転炉2号機の炉体鉄皮とトラニオンリングは寿命を迎えており、炉底接合部からの漏れの可能性があります。このたび採用する容量125トンの転炉について、当社はエンジニアリング、製造、プロジェクト管理、QAを担当します。供給範囲は、炉体、トラニオンリング、ヴァイコンリンク 2.0 サスペンションシステム、ベアリングとハウジング、傾動装置等で、設備機器、部品等のプラントまでの搬送手配も行います。また、ライニングマシンと着脱式炉底交換装置の改造、炉体据付工事、現場でのトレーニング、試運転時の指導も行います。

セルビアのパートナー企業である GrappS は、既存転炉の解体、新設備の仮組、機械部の据付を担当します。

アルセロールミittal ゼニカは、バルカン諸国最大の条鋼メーカーであり、年間生産能力は約 100 万トンです。同社は一貫した生産ラインを備え、基本的な製品群には、鉄筋（棒状およびコイル状）、線材、メッシュ、格子桁等があります。アルセロールミittal ゼニカは、世界有数の鉄鋼・鋳業企業であるアルセロールミittal グループの一員です。



アルセロールミittal ゼニカの更新予定の転炉 2 号機

他言語（英語・ドイツ語・中国語・ポルトガル語・ロシア語）による（プレスリリース及び資料は、以下の URL よりご覧になれます。 www.primetals.com/press/

報道関係お問い合わせ先:

プライメタルズ テクノロジーズ ジャパン株式会社 社長室（広報担当：山下）
〒733-8553 広島市西区観音新町四丁目 6-22 三菱重工業（株）広島製作所内
電話 082-291-2181

プライメタルズ テクノロジーズ 公式ツイッター: twitter.com/primetals

プライメタルズ テクノロジーズ (Primetals Technologies, Limited)は本社を英国・ロンドンに置き、金属鉄鋼産業におけるエンジニアリング、プラント建設、およびライフサイクルサービスの提供を行うパイオニアかつ世界的リーダーです。当社は電機、オートメーション、デジタルイゼーション、及び環境の総合ソリューションを含めた技術、製品、サービスの一式を提供しており、原材料から完成品まで鉄鋼のあらゆる分野を網羅するだけでなく、非鉄分野でも最新の圧延ソリューションをお届けします。当社は三菱重工およびパートナーの出資によるグループ会社で、従業員数は全世界で約 7,000 人です。詳しくは、下記 URL より当社公式ウェブサイトをご覧ください。

公式ウェブサイト: <https://www.primetals.com/jp>

Primetals Technologies, Limited
A joint venture of Mitsubishi Heavy Industries and partners
Communications
Head: Gerlinde Djumlija

Chiswick Park, Building 11, 566 Chiswick High Road
W4 5YS London
United Kingdom

